

平成31年度 被災者支援総合交付金「心の復興」事業（第1回募集分） 交付可能額（団体別）

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
1	3.11伝えるプロジェクト2019	一般社団法人MMIX Lab(ミックスラボ)	宮城県仙台市のおすと長町災害公営住宅第1、第2、第3での同窓会的交流の場づくりとして、住民主導で、食や歌、民話、アートワークショップなどを毎月1回伴走型で企画実施する。また、災害公営住宅近隣のまち等とも連携した住民交流型復興支援活動も行う。さらに、東日本大震災以降蓄積された被災者交流型支援活動をまとめ、3.11を後世に伝え、これからの防災減災活動にも繋がる内容とし、全国の学校などでも使用できるような絵本を制作する。	宮城県仙台市他	1,958
2	住民主体型生きがいサークル作り応援プロジェクト	一般社団法人JAST(日本ソーシャルセラピストアカデミー)	①昭和歌謡うたごえプログラム・対話カフェの開催(住民主体・参加型) ②終了後、自治会役員・現地支援員等と、検討会を開催する。 また、検討会において出された課題やテーマについてのミーティング・コンサルティング・コーディネート等を適宜行う。	宮城県名取市、石巻市、東松島市、気仙沼市、山元町、福島県いわき市、南相馬市、二本松市、岩手県陸前高田市、大槌町、東京都江東区、千葉県松戸市、埼玉県春日部市他関東全域	9,897
3	ふっくら布ぞうりの会による、布ぞうり作りを通したコミュニティ作り	一般社団法人あゆみ	仙台、石巻をはじめとして、要望のある地域で8回の布ぞうり講習会を実施。 また、布ぞうり講習会に参加した方を対象に、陸前高田はまなす会、南三陸ふっくら会 & 石巻なごみ会(共同実施)、石巻たんぽぽ会、石巻にじいろ会、share smile Nippon(東松島)の5チームで勉強会を月に2回実施。今年度は、より地元のNPOや支援団体と連携して、地域の活動として展開していくための情報収集をより活発に行う。	岩手県陸前高田市、宮城県南三陸町、石巻市、東松島市、仙台市	3,345
4	被災地の記憶を伝える言葉を見出すためのプロジェクト	国立大学法人筑波大学	大学生が高齢の被災者に相対して昔話を伺い、それをもとに絵本や紙芝居を制作し、アーカイブ化と公開する取組を継続する。 原発事故後の放射能の影響によって作られなくなりつつある地元の食文化を次世代に伝える。31年度は「やきもち神社発祥のやきもちを食べる会」など同様の試みを継続する。 「食と酒東北祭りin つくば」やドキュメント映像の上映などによって、被災地における取組や文化を福島県外にも広く伝える。このことによって、県外避難者に当取組への参加を呼びかける。	福島県南相馬市・および同市市民の避難先である県外の地域等(東北方面・茨城県・東京都等)	3,215

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
5	福島ー山形 空と土の交流広場事業2019	特定非営利活動法人青空保育たけの子	<p>【取組1】避難者・帰還者・福島在住者の親子で農業体験をし、一緒に汗を流して地元の人とも交流する。収穫物を食べることで食育の効果もある。</p> <p>【取組2】留まっている人、帰還した人など立場の違いによる心の分断の解消を図るために、料理教室、健康講座、映画上映、陶芸、講演会を実施する。</p> <p>【取組3】地域社会とのコミュニケーションが分断されがちな中高年男性の心のケアを目的に手作り遊具作りと交流活動を実施する。</p> <p>【取組4】震災以降特に不足している自然体験を親子・友人ですることにより、心と身体の解放と地元住民との交流を目指す。</p> <p>【取組5】米沢市の当該活動地において地域住民を巻き込んだ「ありがとうマルシェ」を開催し、新たなコミュニティ作りを目指す。避難者や福島在住者、地域住民など様々な立場、ジャンルの方々に出店してもらい、子どもから高齢者まで楽しめるお祭りにする。</p>	福島県福島市周辺地域(支援対象者居住地)、山形県米沢市周辺地域	3,199
6	みんなの街はみんなが創る!ともいく(共育)プロジェクト	一般社団法人プレーワーカーズ	<p>○座談会の実施 被災した方々と復興に向けたテーマを設け、座談会を行う。</p> <p>○ヒアリングの実施 大人数での座談会参加が厳しい状況(知的及び身体の障害、経済的な問題による共働き家庭、被災による心の傷や大人数が苦手なコミュニケーションが難しい方など)の方々に合わせ、小人数でのヒアリングを行う。</p> <p>○被災者が座談会・ヒアリング運営を行うための検討会議・補助・研修 昨年度から関わる被災者の方々と定期的な会議・運営補助を行う。</p> <p>○被災者が企画した復興まちづくり参考・実践書の発行 座談会・ヒアリングの声をまとめ、被災者自らが企画した復興まちづくりに役立つ参考・実践書の作成。</p>	岩手県釜石市、宮城県気仙沼市、石巻市	3,500
7	参加・体験型の「心と体の健康」イベントを通じての地域活性化事業	一般社団法人PSJ	参加・体験型の「心と体の健康プログラム」イベントの実施により、子どもから高齢者まで広範囲にわたる参加者の生きがい作りや、世代間交流によるコミュニティの再生・創出に寄与する。	宮城県名取市・石巻市・登米市・南三陸町及び岩手県釜石市・上閉伊郡など	3,498
8	2019年度にじいろぱれっと・心の復興	特定非営利活動法人東北の造形作家を支援する会(略称:SOAT)	<p>①モザイクアートづくりを通じた帰還先住民の地域内交流支援 帰還した住民の中には、自宅に戻っても周辺に知り合いが戻っていないため、交流がなく寂しいという声がある。そのため、復興公営住宅等に戻った住民も含めた交流の機会を設ける。</p> <p>②講師育成講座を受講した地域支援者の取組定着・他地域への拡散支援 地域支援者や被災者が地域の復興公営住宅の集会所等で実施するWSの開催を支援する。</p> <p>・本取組を地域内外に広めることや参加者の生きがいづくりにつなげるため、作品発表の場を設ける。</p> <p>・来年度以降地域支援者が独自で活動が継続できるよう、外部支援者(東北内他県や東京など)とのつながりづくりの支援も実施。</p>	福島県内(放射能による一部帰還困難地域又は、避難指示解除地域)、宮城県石巻市、岩手県大槌町	9,514

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
9	広域避難者によるコミュニティと生きがいの創出支援事業	特定非営利活動法人和	<p>【取組1】キッチンNagomiを場とした、避難者の生きがい創出事業 支援拠点「キッチンNagomi」(京都市)において、避難者が主宰することを条件とした多様な交流機会を提供する。避難者が交流の中で社会との繋がりと役割を回復し、避難の体験を新たな価値として位置づけ、自己肯定感を高め、主体的な人生を切り開くことを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○製菓教室 ○会津木綿の小物づくり教室 ○食育を目的とした料理教室 ○男性による男性や若者を対象にした料理教室 ○パン焼きと自然素材の料理教室 <p>【取組2】「311 STORIES」(仮称)のアーカイブ事業 避難者にインタビューを行い、避難先での新たな生き方(=復興のストーリー)を聞き書きし、内容をウェブサイトに掲載し、広く世に周知することで、避難者の存在価値を高め、復興のモデルを示す。</p>	京都府、滋賀県内を中心に、関西一円	3,500
10	宇宙から世界に感謝を届ける市民プロジェクトの始動	一般財団法人ワンアース	<p>【取組1】各地域住民による、宇宙ミッション計画(※)の検討 岩手県洋野町、宮城県気仙沼市、福島県福島市の3箇所の拠点で、多くの青少年の参加のもと、以下のステップで宇宙ミッション計画を始動するためのワークショップを行う。</p> <p>第1回:宇宙の専門家から宇宙ミッションの基本を学ぶ 第2回から第6回: (1)世界への感謝のメッセージに含めるべき内容について意見交換を行う (2)心の復興の視点から宇宙に打ち上げるべきアイテムを検討し、意見交換を行う。</p> <p>【取組2】各地域住民による、宇宙ミッション検討結果の発表 2019年7月に岩手県洋野町において開催される「きぼうの桜サミット」の場において、取組1の成果を発表するとともに、他の地域からの多くの参加者と意見交換を行う。</p> <p>※一般財団法人ワンアースが計画するプロジェクトであり、これまでの全世界からの復興支援に対する感謝のメッセージを2020年度末に、国際宇宙ステーション(ISS)から発信予定。</p>	岩手県洋野町、宮城県気仙沼市、福島県福島市を中心とした三県被災全市町村(40自治体)	3,456
11	首都圏・広域避難者の自主的な『活力増進と風化防止』プロジェクト	特定非営利活動法人医療ネットワーク支援センター	<p>当事者が今後の生活に向けてそれぞれの課題に対応するための活力を引き出すことを目的に、各種教室や交流会での仲間づくりと情報共有の機会を支援する。特に、平成28年度から継続中の風化防止活動を「復興文化」と位置づけ、地域住民への情報発信を広げるため、一般市民に向けた冊子作成の制作委員会に避難者を参画させる。震災体験を教訓として生かす活動を更に展開する。</p>	東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県	15,989
12	「千年希望の丘」岩沼復興アグリツーリズム[被災者対象]	インフォコム株式会社 岩沼「みんなの家」事業所	<p>以下のイベントの開催を通じて、集団移転地や被災沿岸地区等の被災者を対象とした心身のケアと生きがいづくりを行い、被災地域コミュニティの再構築を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①宮城県岩沼市の多重防衛のひとつであり復興のシンボルでもある「千年希望の丘」の植樹や育樹 ②防災教育・震災語り部の開催を通じた震災の記憶の風化防止 ③被災沿岸地区での農業体験とコミュニティー施設「岩沼みんなの家」での産地直売や6次産業化、農作物を使った交流 	宮城県岩沼市	3,500

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
13	心と体とまちの栄養復興プロジェクト	特定非営利活動法人日本臨床研究支援ユニット	被災地のスーパー等の店舗または各種検診会場等において、その場で簡単に結果の分かる簡易健康チェックを行う。同時にこの取組における学生ボランティアの学びの発表の場を設ける。これにより、生きがいつくりの効果として、健康増進に関する正しい知識を得ることができる。また、異なる地域で集客力の高いスーパーで開催することで、被災地内外での交流促進の効果を高める。	福島県富岡町、郡山市、いわき市、福島市、宮城県仙台市、岩沼市	1,902
14	避難者と避難受入地元住民との交流と協働による絆づくり	まちづくりNPO新町なみえ	東日本大震災・原発事故により二本松市に避難された浪江町民及び同様の境遇で避難された浪江町以外(飯舘村・富岡町・大熊町)の町村民で農業に興味のある人、帰還後農業により生活再建を計画している人を対象に、地元農家の協力を得て、交流の輪を広げる。また、収穫した農作物を利用して収穫祭を開催し、地元民と避難者との交流・絆づくりを推進し、避難者の心のケアと健康障害の解消に努める。さらに、余剰野菜を浪江町に運び、年に1度の十日市に仮設店舗を利用販売し、帰還者との交流を図り、避難者の生きがいつくりに資する。	二本松市・浪江町	3,480
15	被災地の高校生が発信する福島復興ロードマップ作成事業	特定非営利活動法人ハッピーロードネット	地域の放射線問題に対して適正な理解ができる環境作りを目指し、地域の高校生達が原子力被災対応の先進地の専門家等とのディスカッションや復興の先進地域の現地視察、英国及び全国の高校生を交えた、被災地の課題に関するワークショップなどを実施する。こうした取り組みを通じて、放射線のリスクコミュニケーションの問題への対応を始め、福島復興に何が必要か、まず何ができるか等を自発的・科学的に考え、福島復興のロードマップ(副読本)を作成し、広く発信する機会を設ける。	福島県	5,680
16	多世代協働による『食づくり・ものづくり』ハッピープロジェクト	ハッピープロジェクト	被災者が、多世代協働によるハーブ・農作物づくりや多世代交流会等の「多世代協働による食づくり」を行い、多世代協働で育てたハーブを活用したアロマづくり等の「多世代協働によるものづくり」、被災地外での飲食店でのメニュー提供やパネル展示等による風化防止、効果検証を行う。	宮城県名取市、仙台市、福島県南相馬市、飯舘村、相馬市、神奈川県	4,280

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
17	被災者自身による健康づくりサロン自立運営支援事業	認定NPO法人ふまねっと	被災地において、被災者自身による健康づくりボランティア活動団体を設立し、各地域で毎月2回のサロン活動を行い、健康づくり、居場所づくり、仲間づくり、生きがいづくりを定着させる。そして、このサロン活動が持続するように、健康づくりボランティア活動の指導者人材の養成と、市町村、地域団体、NPOなどの各団体とネットワーク組織づくりを行う。	岩手県大槌町、釜石市、宮城県女川町、石巻市、東松島市	3,500
18	傾聴活動による「心のケア」in宮城、福島	特定非営利活動法人仙台傾聴の会	宮城県、福島県の復興住宅等での傾聴茶話会、傾聴カフェ、傾聴音楽カフェ、箱庭カフェを実施し、また個人宅や被災者が多数入所している高齢者施設を訪問する。	宮城県、福島県	3,315
19	災害公営住宅とNPO等の連携による復興コミュニティデザインの実践	特定非営利活動法人つながりデザインセンター・あすと長町	①岩手県盛岡市に計画中の内陸災害公営住宅において、集会所が有効なコミュニティ形成の拠点となるよう、ハード・ソフトの計画への助言と入居者参加の支援を行う。 ②宮城県仙台市の災害公営住宅において、住宅等の管理運営体制の再構築を支援し、持続可能なコミュニティづくりを目指す。	岩手県盛岡市、宮城県仙台市	1,808
20	被災者の主体性醸成による地域コミュニティ支援	国立大学法人岩手大学三陸復興・地域創生推進機構	コミュニティ活動の中心である自治会運営と、住民主体で実施する行事等の企画・実施を支援する。支援は「情報提供(提案)」「主体性醸成」「実践力強化」の3点を軸とし、「住民力を信じる」ことを前提に、状況に応じて支援の度合を見極める。また、行政・社協・NPO等と連携し、被災者や地域住民との協働を通じて地域におけるノウハウ蓄積と、復興期間後を見据えた人づくりを行う。	岩手県、山田町、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市、北上市、宮城県、気仙沼市、石巻市、塩釜市、多賀城市、仙台市ほか	12,045

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
21	写真でくらしにうるおいを“フォトノマキフェスティバル”	くらしのある家プロジェクト実行委員会	被災した日常のくらしにうるおいと活力を生み出すため、宮城県、福島県の被災地の方たちを中心に、著名写真家と一緒にくらしの「今」を撮影するワークショップを開催する。	福島県、宮城県	1,927
22	困難を抱え孤立する被災者の文化活動を通じた生きがいつくりと交流事業によるコミュニティづくり	特定非営利活動法人マザーリンク・ジャパン	モノづくりや音楽体験、交流会などを通して、子育て世代とそれを支える地域住民が集える居場所や、心を癒せるコミュニティを作り、心の復興に繋げる。この際、地元住民や地域外の人にもボランティアで参加して貰えるようにすることで、風化防止に繋げる。また、モノづくり等に企画段階から当事者が主体的に関われるよう工夫する。	陸前高田市、大船渡市、気仙沼市	7,600
23	ふくしまコミュニティ再生 ～つながる・ひろがる復興交流拠点「みんなの家」～	特定非営利活動法人ビーンズふくしま	これまで設置・運営してきた復興交流拠点「みんなの家セカンド」は、福島県内の避難者とコミュニティと結び、また県外避難者の県内での交流や繋がりを保つ結節点となっている。引き続き、拠点の運営を行いながら、利用者のニーズへの対応とそれぞれの自立の後押しを行っていく。	福島県福島市、伊達市、二本松市、郡山市、桑折町、飯館村、浪江町、東京都、山形県、秋田県、岩手県 他	15,636
24	復興祈念公園を核とした被災3県の連携による震災伝承	公益社団法人3.11みらいサポート	被災者自らが生きがいを感じながら語り部として震災を伝承する機会を創出し、宮城県で唯一、国・県・市が関わる復興祈念公園が設置予定の石巻市において、震災の記録や避難の教訓、街の記憶を聞き取り、共有することで、離散した住民の、失われた地域や時間とのつながりを回復すると共に、東日本大震災の記憶や教訓を後世へと伝承する。また、岩手・福島の前念公園予定地との意見交換・共有を通じ、将来にわたり被災者主体の組織が連携しながら伝承活動を継続可能な体制につなげる。	石巻市、岩手県、福島県前念公園予定地	8,670

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
25	人の復興の後押し、3県女性たちによる振り返りと復興のつながり	みやぎジョネット	団体事務所を利用してサロンを実施し、軽運動、傾聴、小物作り、歌や踊り、お花見や町の様子視察、文化祭などへの作品の出展など、さまざまな機会を活用して、さまざまな角度から参加者の心身の健康向上を図り、心のケアにつなげる。	宮城県	9,991
26	3・11アートファンタジア2019石巻松島復興五輪前夜そして明日へ	花とアートで再生復興プロジェクト委員会	アートや創造・文化活動で心の復興をはかる事を目的とし、石巻における各種アートイベントや松島の国宝瑞巖寺におけるワークショップ茶会を開催する。	宮城県 石巻市・松島町	8,987
27	東日本大震災からの復興のための移動コミュニティバス事業	一般社団法人チーム王冠	津波などの被災地域で集会場を失ったなどの理由で住民交流の機会が減少している地区にお茶っこバスで訪問する。また、復興住宅で住民交流を必要としている場所にも同様の訪問をする。	宮城県石巻市、東松島市、女川町、山元町、気仙沼市、岩手県陸前高田市、福島県南相馬市	10,817